

桐原上原線による病院へのアクセス及び生活交通の充実

応募様式A

桐原上原線利用促進共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	広島市
事業実施地域	広島市
共創の類型	官民共創・他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉、商業・農業、地域・移住
共創パートナー	広島市、広島交通㈱、安佐医師会病院
運行形態	①路線バス ②道路運送法第4条許可
運行主体	広島交通㈱

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

令和4年5月に移転した北部医療センター安佐市民病院の跡地に令和5年4月に完成した安佐医師会病院は、地域の急性期病院と在宅医療・介護、生活とをつなぐ地域包括ケアシステムの中核を担うものであるが、現状では、桐原、上原地区の団地から病院にアクセスする際のバス停の位置が病院から離れており、高齢化が進み自家用車の運転も困難な住民たちがこうした医療サービスを受けにくい状況が続いている。

このため、交通事業者と連携して、既存のバス路線について、病院へ乗り入れるルートに見直し、病院利用者の利便性の向上を図るとともに、病院と周辺施設が連携し、病院来院を契機に地域住民の移動需要を呼び起こし、地区内を回遊することによる消費活動や社会参加を促すことで、地域の活性化を図る。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

有

運輸局・運輸支局への事前相談

無

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

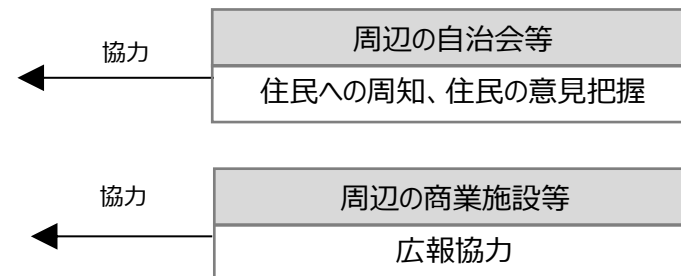
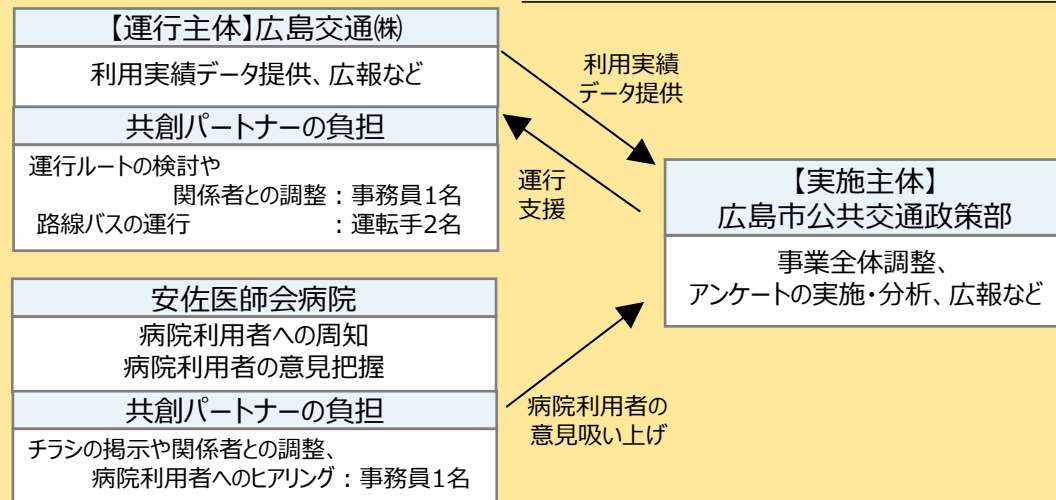
桐原上原線による病院へのアクセス及び生活交通の充実

応募様式A

桐原上原線利用促進共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み

桐原上原線利用促進共創プラットフォーム



取組の概要

(事業の概要)

安佐医師会病院へのアクセス及び可部地区の住民の生活交通の確保のために、桐原上原線を同病院に乗り入れることにより、同病院へのアクセス性を向上させるとともに、病院来院を契機に地域住民の移動需要を呼び起こし、消費活動や社会参加を促すことで、地域の活性化を図る。

(地域の関係者との連携・協働)

安佐医師会病院が参画することにより、病院利用者の意見や需要を的確に把握し、事業を実施することができる。

また、病院が中心となって周辺自治会や商業施設、学校など、地域の様々な団体を巻き込み、地区内の回遊性向上策を実施することで、地域に親しみのある生活交通として効果的に周知を図ることができ、更なる地域住民の移動需要を呼び起こし、持続的に取り組んでいくことが可能となる。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

安佐医師会病院には鉄道や都心部方面への路線バスから当該路線に乗り継ぐことにアクセスすることが可能であるため、当該路線の利用促進策の実施により、そうした乗継利用の利便性も向上するため、他の既存交通にとっても有益な影響を及ぼすことが期待される。

	2024年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
広島市	●応募	●採択				●応募内容 の変更	●交付申請 交付決定	広報 → → アンケートの実施・ 利用状況の調査	利用状況・ アンケートの分析 → ●実績報告	
広島交通(株)								広報 → 運行ルートの検討、申請 →	路線 バスの運行・利用 状況の調査	
安佐医師会病院								広報・病院利用者の 意見聴取 →	病院利用者の 意見整理 →	
周辺の自治会等								広報・地域住民 の意見聴取 →	住民の意見整理 →	
周辺の商業施設 等								広報 →		

取組の詳細

（地域交通にもたらされると想定される効果）

- ・新規利用者の増加や移動需要の喚起、それに伴う地域活動・消費活動の活発化が期待される。
- ・安佐医師会病院には鉄道や都心部方面への路線バスから当該路線に乗り継ぐことにアクセスすることが可能であるため、当該路線の利用促進策の実施により、そうした乗継利用の利便性も向上するため、他の既存交通にとっても有益な影響を及ぼすことが期待される。

（地域全体に及ぶと想定される効果）

- ・移動需要の喚起に伴う地域活動・消費活動の活発化が期待される。
- ・安佐医師会病院にバスで来院する利用が増えることで、病院の駐車場の混雑緩和に寄与する。
- ・自家用車から路線バスによる来院に転換することで歩行距離が増え、体力低下を防ぐことが出来る。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	○	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

（補助事業実施後の予定）

この度の実証実験の結果を踏まえ、その他の路線でも病院へのアクセス改善を図ることで地域活性化につながる路線の掘り起こしが可能となり、更なる地域住民の公共交通サービスの拡充につなげていくことができる。

資金面	補助事業実施後、更なる利用促進策の実施に当たっては、広島市の負担に加え、周辺商業施設等からの協力についても検討・調整する。
人材面（運転手の確保）	交通事業者による積極的な採用情報の周知など、引き続き運転手の確保に努める。